

## 2007年度 学術教養センターFDセミナー（1）

- 日時 12月19日(水曜日) 14:40～16:10
- 場所 経済棟9階 会議室
- 参加者 11名
- テーマ 導入教育を考える
- あらまし

1年生前期に開講している教養ゼミを衣替えして導入教育を中心とする「導入ゼミ」（前期）、それに続く「教養ゼミ」（後期）、そして2年次以降の「学術ゼミ」からなる一連のカリキュラム改変を行うための議論の場として、「導入教育を考える」セミナーを開催しました。

このセミナーは、教養ゼミにおいて、担当の教員が、本学の1年次学生をどのように受け止め、教育方法に工夫をこらしているかを議論する、いわば、ファカルティ・ディベロップメントとしての活動に位置づけられるものです。そこで、FDサイトに概要を掲載するとともに、第2回目以降は、全学の教員の参加を呼びかけることにしています。

今回は、学術教養センターの山川修教授の講演「導入ゼミに必要な学習項目を考える ～教養ゼミの実践を踏まえて～」を題材に、導入教育について活発な議論がなされました。その概略は以下のとおりです。なお、この講演は、第16回学術教養センター研究会の一環としてなされました。ちょうど、導入教育を考えるFDセミナーの開催と、時期およびテーマが重なった次第です。大変充実した内容の講演で、山川教授の提案する導入教育の骨格について活発な議論がなされました。

第2回セミナーは、この導入教育の骨格について合意形成を行いつつ、多数の教員の教養ゼミでの経験を発表して戴きながら骨格に肉付けする内容で企画したいと考えています。

(学術教養センターFD担当 菊沢正裕)

### ● 講演概要

「導入ゼミに必要な学習項目を考える ～教養ゼミの実践を踏まえて～」

学術教養センター 山川 修

再来年から学生の基礎的な能力を伸ばすために「導入ゼミ」が開始されるが、現時点で何が学生の「基礎的な能力」か、合意が取れているとはいえない。そこで、今回は、山川が数年前から実施している教養ゼミ「テレビを読もう」の実践を踏まえて、導入ゼミに必要な3つの学習項目を提案した。すなわち、「論理的思考力」「表現技術」「コミュニケーション技術」である。この3つは後者ほど複数の要因が絡んでいると考えられる。導入ゼミの学習項目として「論理的思考力」「表現技術」を入れることは大方の理解を得られたように感じているが、「コミュニケーション技術」に関しては、「大学で教えるべきものか」、「現有の大学教員で教えることができるのか」等、かなり抵抗があるようであった。後半は、こういった学習項目を一部取り入れている、山川の教養ゼミの事例を紹介した。